

再評価時再評価結果(平成30年度)


担当課 : 徳島県砂防防災課

担当課長名 山名 剛

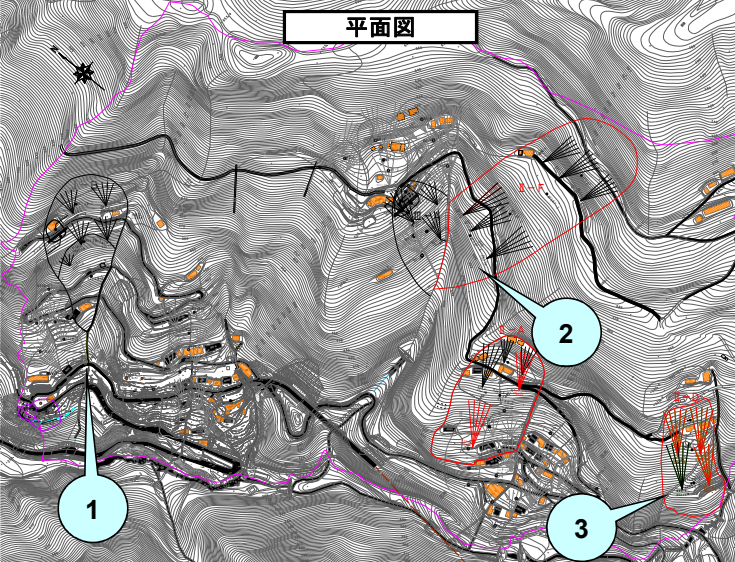
事業の概要

事業名	地すべり対策事業	事業区分	地すべり対策事業	事業主体	徳島県
事業箇所	吉野川市美郷	箇所名	古井地すべり防止区域		
事業概要	地すべり防止施設(横ホーリング工)				
事業の目的・必要性	古井地区地すべり対策事業の目的は、地すべり防止施設等の設置により、人家、河川、避難所、道路等施設の地すべり活動による被害を除去または軽減する事を目的とする。当地区の保全人家は18戸で、地すべりにより市道や宅地に亀裂や沈下が生じており、早期対策の必要がある。				
総事業費	450 百万円				


位置図 計画概要図



古井地すべり防止区



平面図



①
②
③

凡例

地すべり防止区域	湧水地点
包括ブロック	湧水地点(未探水面所)
既設横ホーリング工	H30予定横ホーリング工
既設水溝工	

事業評価結果

事業全体の投資効率性	基準年度	B/C	残事業B/C	総費用		総便益	
	平成30年度	3.9	15.3	597百万円	工事費・用地補償費 等	2,327百万円	人家18戸 等
事業の効果等	<ul style="list-style-type: none"> ・人家の保全: 家屋被害等の軽減 ・国道・市道の保全: 道路被害の軽減 ・避難所の保全: 地域の防災力向上 ・人身被害の軽減 						
ソフト対策	土砂災害警戒区域に指定済みであり、警戒避難体制の整備に寄与している。						
社会経済情勢等の変化	当地区では事業着手時から保全人家が23戸から18戸に減少したが、地域の高齢化が進み、自力では避難が困難な住民が増加しているため、依然として早急な対応が必要な状況である。						
事業の進捗状況	全体計画5ブロックのうち2ブロックについて概成済み。残りの3ブロックについてもH31までに対策工事は完了し、H32の効果判定結果をもって概成する予定である。 平成30年度進捗率は事業費ベースで82.4%である。						
感度分析	感度分析の結果においても事業の効果は確保されている。 事業費+10%:3.8, 事業費-10%:4.4, 工期+10%:4.0, 工期-10%:3.9, 資産+10%:4.3, 資産-10%:3.5 残事業費+10%:14.3, 残事業費-10%:16.5, 残工期+10%:15.0, 残工期-10%:16.0, 残資産+10%:16.7, 残資産-10%:13.9						
事業進捗の見込み	平成32年度完了に向けて、特に隘路なし。						
対応方針(案)	継続						
対応方針理由	地元からの要望が高く、事業に対し協力的であり、事業進捗が見込めることから総合的に判断した。						

※総費用、総便益は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものを。

継続の理由

上記の費用便益分析の結果より、便益に対する事業費は妥当であり、事業進捗率も82.4%と事業完了が比較的近い。したがって、地域の人命・財産の保全するため、平成32年度の完成に向けて地すべり対策事業を継続する。